

夜間開園時の開花状況「大温室」(3)

高井敦雄・梶原芳信

2005年8月、9月、12月に計6日間実施した夜間開園時における夜開性の植物を中心とした開花状況を報告する。

開花状況

8月20日

①夜開性植物

ヤコウボクは地植え、鉢植えともに開花し、イエライシャンは数房が開花した。

サガリバナは房の半分程度が開花した。

②夜開性植物以外

イランイランノキ、バナナ、ヘリコニア、カカオ、ヘゴ、ソーセージノキのライトアップを行った。

8月27日

①夜開性植物

ヤコウボク、イエライシャンは8月20日に同じ。サガリバナも前週よりは少なかったが開花した。

②夜開性植物以外

8月20日に同じ。

9月3日

①夜開性植物

ヤコウボク、イエライシャンは8月20日に同じ。サガリバナは大きな蕾はあったが、開花しなかった。

②夜開性植物以外

8月20日に同じ。

9月10日

①夜開性植物

ヤコウボクは地植え、鉢植えともにそろそろ数輪が開花した。イエライシャンは最後の1房が開花しており、サガリバナは5輪が開花した。ゲッカビジンは鉢植えのものが開花した。また、鉢植えのベニバナヤコウボクが初めて開花したので、展示した。

②夜開性植物以外

8月20日に同じ。

12月10日

①夜開性植物

鉢植えのヤコウボクが開花した。

②夜開性植物以外

ブーゲンビレア、カカオのライトアップを行った。

12月17日

①夜開性植物

鉢植えのヤコウボク、ゲッカビジンが開花した。

②夜開性植物以外

12月10日に同じ。

まとめ

夜間開園において入園者の関心が高いのは、サガリバナとゲッカビジンという印象を受けている。純白大輪の豪華な花のゲッカビジン、日によっては一夜で数十輪を一齐に咲かせるサガリバナは、ともに一見しただけでかなりのインパクトがあるのが理由と感じている。

入園者の関心が高いゲッカビジンであるが、夜間開園日に合わせて開花させるのは難しく、全ての夜間開園日に開花させるのはさらに困難である。このような状況から今回の夜間開園での開花状況はまずまずと言えると思う。ゲッカビジンは株によって開花に数日のずれがあるため、今後は多くの株を栽培し、運良く夜間開園当日に開花した株を展示するというのが現段階での現実的な対応ではなかろうか。

また、サガリバナは花のピークが7月下旬から8月上旬と例年より早く、今回の夜間開園では花が少なく残念な結果となった。特に9月3日の夜間開園日には開花せず、入園者には大変失望させることとなった。大株になれば1株で数十の房を付けるサガリバナであるため、1～2株程度を少し条件の違う場所に地植えし、大株に仕立てることで、今後の対応としたい。また、サガリバナと同じ仲間のゴバンノアシの植栽も行いたいと考えている。

ヤコウボクやイエライシャンは芳香がありながらも、花が小さかったり、目立ちにくいため、見た目のインパクトに乏しく、関心を持ってもらうにはガイドボランティア等の説明が必要と感じている。今後はベニバナヤコウボクやケストルム・パルクイなどのヤコウボクと同じ仲間をヤコウボク付近に植えることで、既存のシクンシやイエライシャンとともに通路一帯を夜間開園においては特に話題豊富な場所となるようにしたいと考えている。